

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
柳井市	新庄・余田南地区	平成25年3月	令和5年3月

1 対象地区の課題

基盤整備事業が今後展開される予定の地域もあり、事業効果により農地の集積・集約化は一定程度期待できるため、全体的に高齢化も進んでいるが、担い手の確保はなされている。

2 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

新庄南集落の農地利用は、中心経営体である認定農業者が担うほか、余田南集落の基盤整備完了後も認定農業者が中心となり対応していく。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受け の意向	
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積
計	17 経営体	水稻等	54.7 ha	水稻等	93.3 ha

3 2の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

土地改良事業を契機に中心経営体に農地を効率的に集積し、作業の省力化や低コスト化等を図る。
また、新たな担い手の確保に取り組み、持続可能な地域農業経営の実現を目指す。
さらに、恵まれた気候条件を生かした、園芸作物の生産を推進する。

鳥獣被害防止対策の取組方針
地域による鳥獣害対策の集落点検マップ(侵入防止柵や檻の設置状況、放置果樹や目撃・被害発生場所等)づくりや捕獲体制の構築等に取り組む。

特産化作物の導入方針
米等の作物以外に、恵まれた気象条件を生かし収益性の高いいちごや収益性の高い自然薯などの園芸作物の生産を推進する。